

～JAFSA50周年(2018年)をめざして～

特定非営利活動法人

## JAFSA(国際教育交流協議会)賛助会員 ご入会のお誘い

世界はボーダーレスとなり、高等教育機関である大学も国際的視野がないと生き残れない時代が来しました。「留学生受入れ 30 万人計画」も、今後の日本の教育のグローバル化を見据えて計画されたものです。急激な流れの中で、JAFSA は実績と経験を基に次へのステップへ進もうとしています。

現在、日本では外国人留学生数が約 14 万人となり、留学生増による学内外の大きな変化に教職員は対応しています。また、留学生を受入れにあたっては入国・入学に始まり、学内での生活、就職など、サポートしていかなければなりません。現在はインフラが完全に整っているとは言えない状況です。一方では海外留学を希望する日本人学生も増加させる必要があります。どの大学も差別化、個性化、地域との連携等を明確に打ち出すことを迫られています。

しかしながら、団体メンバーである 210 以上の大学にとって、まだまだすべてを解決できている訳ではなく、企業とタイアップしてさまざまなサービスを実施している途中の段階です。産学協同の重要性が問われていると言っても過言ではありません。

JAFSA の賛助会員となると、企業としてどのようなメリットがあるのか、JAFSA で何ができるのかご紹介いたします。ぜひご検討いただき、ご参加くださるようお願い申し上げます。

### 1. 活動内容・賛助会員としてのメリット

#### 1) ネットワーキングと広報/マーケティングが可能

現在、最も力を入れていることのひとつが、ネットワーキングです。210 以上の大学、25 以上の国内教育機関・在日海外公館などがメンバーになっています。したがって、貴社の考えておられる高等教育マーケットに実にぴったり当てはまり、広報/マーケティングの効力は抜群です。

- (1) JAFSA のメーリングリスト(国内外の大学等の国際交流担当者約 2,000 以上のメール・アドレス登録済)に登録できます。日常的に情報、意見の交換ができ、自分の席にいながらにして、全国から最新で正確な情報を入手できます。また情報を得やすく、全国的ネットワークに加われるようになります。賛助会員として、セミナーや商品のご紹介を実施することが可能です。すでに約 40 の賛助企業の方が活用されています。
- (2) 年次大会としてシンポジウムやワークショップを開催します。全国からメンバーの方が多く集まります。テーマも、国際教育交流分野における人材育成や大学の国際化などで、メンバー間の意見交換や知識の吸収が可能です。ブース展示や広告掲載・チラシ広報などが可能です。
- (3) 諸外国の教育機関等の国際交流担当者とのネットワークができます。JAFSA と日常的に関係の深い同種の団体には、米国 NAFSA、欧州 EAIE、韓国 KAFSA と KAIE、豪州 ISANA があり、これらを通じて新たな相互交流を開始するきっかけが作れる可

能性があります。またここで多くのビジネスチャンスを獲得できます。

2011年度は5月下旬に第63回 NAFSA 年次大会(カナダ・バンクーバーにて開催)に JAFSA 取りまとめで共同展示ブースを運営、9月中旬に第22回 EAIE 大会(デンマーク・コペンハーゲンにて開催)、2012年1月には第13回 KAIE 大会、4月には第7回 APAIE 大会に参加します。

- (4) 米国大使館・日米教育委員会(米国)、ブリティッシュカウンシル(英国)、カナダ大使館(カナダ)、中国教育省等と協力し、各々の国にある高等教育機関(大学)と交流会を開催しています。

## 2) 新事業の開拓

「留学生 30 万人受入計画」のためのインフラ整備は決して整っているとは言えません。留学生の獲得から、来日、滞在期間の生活、就職の世話などに至るまで、必要とされていることがまだまだ実施されているには至りません。ソーシャルビジネスとしての必要性は、産学官がともに手を携えてこそ実現できるのです。そのお手伝いをぜひともお願いしたいと思います。貴社と JAFSA がともに Win-Win になることを目指しています。

## 2. プロフェッショナルとしての活動

JAFSA は国際交流担当者の研修を支援しています。JAFSA の目指す研修は、PDP (=Professional Development Program) といって、国際交流担当者のプロとして、初任者から上級者に至る専門能力とスキルを身に付けるための研修プログラムを準備しています。また各省庁などとも協力し、アドボカシー活動も行いつつ、日本の将来の政策形成に対して積極的に関わっています。

## 3. 会員としての義務

定款等規約類を遵守し会費を納めていただく以外には厳密な意味での「義務」はありません。日頃から JAFSA の活動を積極的にご活用ください。また、セミナー等の企画や実施などに参加いただければ、ビジネスに役立つことは間違いありません。

## 4. 入会手続

入会申込書に必要事項をご記入の上、下の事務局宛にメールしてください。事務局にて入会申込書受領後、会費納入のご案内等ご連絡いたします。年会費は次のとおりで、会費は4月から翌年3月まで有効です。入金後、入会完了といたします。

賛助会員 10万円以上となっております。

(30万円、50万円など多額の協賛金の場合、広告などの優遇があります)

### 特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会) 事務局

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 538 平成ビル 5F

TEL: 03-5155-3780 FAX: 03-5155-3786 E-mail: info@jafsa.org URL: <http://www.jafsa.org>